

高知市立南海中学校卒業式教育長祝辞

うららかな春の訪れが感じられる今日のおよき日を迎えられた卒業生の皆さん、中学校のご卒業、誠におめでとうございます。

少し大きめの制服に身を包み、緊張と不安、期待と決意が入り混じる中、学び舎の門をくぐられたあの日から、3年が経ちました。今、卒業証書を手に、皆さんの胸には、仲間とともに、学び合った授業のこと、暑い日も寒い日も、頑張り抜いてきた部活動のこと、時には思いが衝突しながらも、協力や団結の意味を学んだ学校行事など、さまざまな思い出が駆け巡っていることでしょう。

さて、昨年は、将棋の藤井聡太棋士が、最年少で史上4人目の五冠を達成されました。わずか19歳で将棋界の8つのタイトルのうち5つを保持することとなり、現在においても、かつて最年少で七冠を達成した羽生善治棋士との世紀のタイトル戦が繰り広げられている最中です。また、藤井聡太棋士は、将棋のAIソフトを使用して研究していることが有名ですが、日本の伝統文化である将棋の世界にAIを取り入れ、5つのタイトルをつかみ取る姿は不易流行の本質を見極め、自分の将来を見据えてきた結果だと感じました。

これからの社会は、変化が激しく予想ができないことが多くあると言われていいます。どんなに社会が変わろうとも、「時代を超えて変わらない価値のあるもの」と、「時代の変化とともに変えていく必要のあるもの」を見極め、今まで培ってこられた経験と、学習してきたことを土台として、今後さらに研鑽を積み、自らの未来と、これからの社会を大きく切り拓いていってください。

今日まで、お子様のよき理解者として、成長を温かく見守ってこられましたご家族の皆様、そして、一人一人の生徒に対して時には厳しく、時には優しく愛情を持ってご指導くださいました教職員の皆様方の感慨は、ひとしおのこととお察しいたします。心からお喜び申し上げます。また、日ごろから地域を挙げて中学校の教育の充実にご支援を賜りました地域の皆様にも深く感謝申し上げます。

最後になりますが、卒業生の皆さんの前途が希望に満ち、幸多いことを祈念し、祝辞といたします。

令和5年3月14日

高知市教育委員会

教育長 松下 整